



安心して暮らし続けられる市政を

日本共産党大津市議員団が2009年度大津市予算編成に当たっての政策要望を提出

深刻な不況が市民生活をおびやかしています。日本産党大津市議員団は十一月六日、市民のいのちと暮らしを守る大津市政をすすめることを求めて、約一四〇項目の要望を提出し、目片市長と懇談をおこないました。

市民のいのちと暮らしを守る市政を

●**庁舎やサイエンスパークへの無駄づかいやめよ**
市民生活が困難なとき、庁舎移転新築より幼稚園、保育園、小・中学校施設や支所などの耐震化を優先すべきであり、土地利用の計画に目途もたっていない伊香立サイエンスパーク(工場・住宅団地開発計画)の残区画を市が土地取得するような無駄づかいはやめるべきと市長に中止を求めました。

●**上下水道の料金値上げは中止せよ**
昨年来からの増税、相次ぐ生活必需品の値上げで、市民はくらしに不安を抱えています。来年4月からの上下水道料金の値上げはさらに負担の追い打ちとなります。不急な施設整備など控えることや市の負担を増やすなど市民生活を支える努力をすべきと要望しました。
市長は「値上げはやむを得ず…」と値上げの立場を固辞しました。

福祉の充実でくらしを支える市政を

●**地域で生き生きと暮らせる障がい者福祉の前進を**
地域で自立して生活できるよう施設整備や支援の充実を求めました。

●**市民のいのちと健康を守る**
国民健康保険の保険料滞納問題がクロウズアップされていますが、高すぎる保険料が生活を圧迫しています。保険証の取り上げはやめるべきです。

●**高齢者が安心できる介護保険制度の改善を**
必要とする人が必要な介護を保障できるよう介護保険の見直しの年にあたり、充実を求めました。

●**安心して子育てできるよう支援の拡充を**
子どもの医療費無料化を拡充することや妊産婦健診の無料化で経済的負担を軽減すること、保育園待機児童の解消のために保育園の新設を強く要望しました。

●**教育予算の増額を**
学校施設の耐震化は計画されていますが、老朽化が進み雨漏りや壁のはがれ、トイレの悪臭など改修を必要とする校舎も増えています。子どもたちが豊かに学べるよう教育環境の整備を求めました。



●**安全な食べ物を地元で**
食品偽装事件に端を発して、市民の食の安全への関心は高まっています。安全な食品の確保のためにも地産地消をすすめることが大切です。また食料自給率の向上にもつながります。農業支援と旧志賀町の自校方式給食を広げることが求めました。

赤字の競輪事業は廃止の準備を ～特別委員会で岸和田競輪を視察

大津市の競輪事業(びわこ競輪)は、4年連続の赤字で、約12億1千万円の累積赤字です。
視察した岸和田競輪場も共同開催していた阪南3市と富田林市が赤字を理由に平成14年に撤退、その後究極の経費削減(従業員を半分に以下に、さらにその給料も30%削減)により、かろうじて、黒字になったものの将来、廃止を前提としての準備をしているとのことです。
大津市に比べ交通の便も良く、人口が多い大阪にも近い岸和田でさえ、この始末です。
大津市でも、これ以上競輪事業に執着することはあきらかです。
従業員や選手の人たちの生活、再就職などに留意しつつ大きな傷にならぬうちに廃止に向けて準備を始めるべきです。
(佐々木市議)

西武前で上下水道料金値上げ中止を求める署名行動



12月市議会定例会が始まります!
 12/2(火)開会(請願は開会日正午までに提出してください)
 12/9(火)～11(木)質疑・一般質問
 12/12(金)～15(月)常任委員会
 12/16(火)特別委員会 12/18(木)閉会